



平成23年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 田辺工業株式会社

コード番号 1828 URL <http://www.tanabe-ind.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 四月朔日 義雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 事務部長 (氏名) 小野 彰

TEL 025-545-6500

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	14,797	19.1	191	83.9	192	84.0	94	86.3
22年3月期第3四半期	18,286	5.2	1,186	6.6	1,203	9.3	687	11.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	17.62	
22年3月期第3四半期	128.47	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
23年3月期第3四半期	18,226		9,346		51.3	1,746.68
22年3月期	17,214		9,369		54.4	1,751.10

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 9,346百万円 22年3月期 9,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		0.00		20.00	20.00
23年3月期		0.00			
23年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,800	16.2	730	45.0	750	44.5	400	46.0	74.75

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は[添付資料]P.3「2.その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 社 (社名)、 除外 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	5,364,000株	22年3月期	5,364,000株
-------------------	----------	------------	--------	------------

期末自己株式数	23年3月期3Q	13,120株	22年3月期	13,120株
---------	----------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	5,350,880株	22年3月期3Q	5,350,880株
----------------	----------	------------	----------	------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年5月14日発表の通期連結業績予想は修正していません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第 3 四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4 . 補足情報	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前半は中国を始めアジア諸国への輸出や、政府の景気刺激策により緩やかな回復基調を示しました。しかしながら、後半に入り急激な円高の進行や景気対策の終了等により、厳しい経済状況になってまいりました。

設備工事業界におきましては、企業業績の回復により一部に設備投資の回復が見られたものの、急激な円高や経済対策の息切れ等により、設備投資が急速に減速してまいりました。

このような状況下で当社グループは、受注競争が厳しさを増すなかで、受注の確保・拡大に全力で取り組んでまいりました。受注高は、設備工事業が、期初の受注確保が寄与し前年同四半期を上回り、タイ国の表面処理事業も、自動車生産の回復により受注は前年同四半期を上回りました。結果受注高は、16,357百万円（前年同四半期比12.6%増）となりました。売上高は、表面処理事業は好調でありましたが、設備工事業において、前期より適用となりました工事進行基準により前期繰越工事が大幅に減少したため、第3四半期の売上高が影響を受け、結果14,797百万円（同19.1%減）となりました。

利益面につきましては、減収並びに競争激化に伴う利益率の低下、その上原価管理不足による赤字工事の発生により、売上総利益が大幅に減少したため、営業利益191百万円（同83.9%減）、経常利益192百万円（同84.0%減）、四半期純利益94百万円（同86.3%減）となりました。

当第3四半期のセグメント別では、設備工事業においては、前期からの繰越工事が工事進行基準の適用により大きく減少したため、売上高13,990百万円（同20.9%減）、営業利益496百万円（同67.9%減）となりました。表面処理事業は、タイ国の景気回復により自動車部品のメッキラインの稼働率が上昇したため、売上高は599百万円（同30.5%増）となりましたが、一部自動車部品以外のラインで不採算ラインがあり、営業利益は43百万円（同15.3%減）となりました。その他は、売上高207百万円（同49.6%増）、営業利益1百万円（前年同四半期は営業損失31百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は18,226百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,011百万円増加しました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は13,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,212百万円増加しました。主に受取手形・完成工事未収入金等、未成工事支出金の増加によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は4,908百万円となり、前連結会計年度末に比べ200百万円減少しました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は7,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,116百万円増加しました。主に支払手形・工事未払金等、短期借入金の増加によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は1,324百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は9,346百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.4%から51.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ19百万円増加し、2,175百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

税金等調整前四半期純利益が175百万円となり、減価償却費や仕入債務の増加、未成工事受入金の増加等による収入はありましたが、売上債権の増加、未成工事支出金の増加等による支出が多く、営業活動によるキャッシュ・フローは1,117百万円の支出（前年同四半期比13.3%減）となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

有形固定資産の取得による支出等により、489百万円の支出（同1,404.6%増）となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

主に短期借入金の増加により、1,667百万円の収入（前年同四半期は302百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、受注高は現在まで概ね予定通り推移しております。売上高は第4四半期に集中して計上となる傾向があり、現時点では平成22年5月14日発表の業績予想（決算短信）の変更はありません。今後業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益は1,151千円、経常利益は1,128千円減少し、税金等調整前四半期純利益は10,147千円減少しております。

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,175,231	2,156,188
受取手形・完成工事未収入金等	9,510,428	8,953,300
未成工事支出金	911,977	543,961
その他のたな卸資産	118,475	132,228
繰延税金資産	290,967	290,957
その他	313,886	32,692
貸倒引当金	3,756	4,128
流動資産合計	13,317,209	12,105,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,967,955	3,979,844
機械、運搬具及び工具器具備品	2,056,650	2,014,263
土地	1,454,246	1,454,246
リース資産	68,828	46,989
建設仮勘定	12,171	10,175
減価償却累計額	3,501,486	3,272,743
有形固定資産合計	4,058,366	4,232,775
無形固定資産	94,153	97,140
投資その他の資産		
投資有価証券	394,863	399,681
繰延税金資産	268,649	270,489
その他	94,119	111,061
貸倒引当金	1,223	1,450
投資その他の資産合計	756,408	779,781
固定資産合計	4,908,929	5,109,698
資産合計	18,226,138	17,214,900

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,915,691	2,703,760
短期借入金	2,650,350	760,700
リース債務	13,154	9,045
未払金	1,163,072	1,481,567
未払費用	239,490	255,178
未払法人税等	-	267,907
未成工事受入金	182,899	117,786
完成工事補償引当金	22,670	32,419
工事損失引当金	-	7,500
賞与引当金	263,895	593,431
役員賞与引当金	-	47,000
その他	104,110	162,815
流動負債合計	7,555,335	6,439,112
固定負債		
長期借入金	385,000	490,000
リース債務	39,498	29,775
退職給付引当金	673,270	673,377
役員退職慰労引当金	226,753	212,721
固定負債合計	1,324,522	1,405,873
負債合計	8,879,857	7,844,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,320	885,320
資本剰余金	1,475,320	1,475,320
利益剰余金	7,303,841	7,322,637
自己株式	6,485	6,485
株主資本合計	9,657,995	9,676,792
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	34,876	39,314
為替換算調整勘定	346,590	346,191
評価・換算差額等合計	311,714	306,877
純資産合計	9,346,280	9,369,914
負債純資産合計	18,226,138	17,214,900

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	18,286,423	14,797,413
売上原価	15,431,701	12,942,784
売上総利益	2,854,722	1,854,628
販売費及び一般管理費	1,668,721	1,663,450
営業利益	1,186,000	191,177
営業外収益		
受取利息	2,559	414
受取配当金	5,412	6,432
受取地代家賃	22,443	23,356
その他	20,617	11,524
営業外収益合計	51,033	41,728
営業外費用		
支払利息	15,415	17,223
債権売却損	3,655	5,393
コミットメントフィー	7,859	7,900
投資有価証券評価損	-	8,945
その他	6,353	848
営業外費用合計	33,284	40,310
経常利益	1,203,749	192,595
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,284	-
固定資産売却益	7,911	807
役員退職慰労引当金戻入額	8,030	-
投資有価証券売却益	-	14,063
補助金収入	-	16,935
特別利益合計	21,226	31,806
特別損失		
固定資産処分損	2,117	336
固定資産売却損	350	394
固定資産圧縮損	-	16,935
投資有価証券評価損	999	21,584
過年度関税等支払額	25,536	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	9,019
その他	170	350
特別損失合計	29,174	48,619
税金等調整前四半期純利益	1,195,800	175,782
法人税等	508,352	81,511
少数株主損益調整前四半期純利益	-	94,271
少数株主利益	-	-
四半期純利益	687,447	94,271

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,195,800	175,782
減価償却費	199,365	266,264
投資有価証券評価損益(は益)	6,355	30,529
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,284	12
賞与引当金の増減額(は減少)	355,239	376,535
退職給付引当金の増減額(は減少)	38,198	23,173
完成工事補償引当金の増減額(は減少)	2,411	9,749
工事損失引当金の増減額(は減少)	29,000	7,500
受取利息及び受取配当金	7,971	6,847
支払利息	15,415	17,223
為替差損益(は益)	2,306	84
有価証券売却損益(は益)	161	-
投資有価証券売却損益(は益)	-	14,063
有形固定資産売却損益(は益)	7,560	413
その他の損益(は益)	4,601	-
固定資産廃棄損	2,117	336
固定資産圧縮損	-	16,935
補助金収入	-	16,935
売上債権の増減額(は増加)	1,166,651	568,396
未成工事支出金の増減額(は増加)	2,136,440	366,980
たな卸資産の増減額(は増加)	23,218	607
その他の流動資産の増減額(は増加)	34,178	281,534
仕入債務の増減額(は減少)	1,341,535	445,058
未成工事受入金の増減額(は減少)	1,607,123	65,113
その他の流動負債の増減額(は減少)	209,249	163,103
その他	-	10,507
小計	681,976	761,816
利息及び配当金の受取額	7,971	6,847
利息の支払額	14,272	17,148
法人税等の支払額	600,794	345,681
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,289,072	1,117,798

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	53,600	-
有価証券の売却による収入	53,761	-
有形固定資産の取得による支出	77,136	536,427
有形固定資産の売却による収入	39,290	1,174
無形固定資産の取得による支出	3,479	5,615
投資有価証券の取得による支出	2,245	64,226
投資有価証券の売却による収入	-	45,132
貸付金の回収による収入	374	164
子会社の清算による収入	-	53,581
保険積立金の解約による収入	13,158	-
補助金収入	-	16,935
その他	2,668	376
投資活動によるキャッシュ・フロー	32,543	489,657
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	800,000	1,900,000
長期借入れによる収入	700,000	-
長期借入金の返済による支出	70,050	115,350
配当金の支払額	127,123	107,575
リース債務の返済による支出	4,862	9,098
財務活動によるキャッシュ・フロー	302,036	1,667,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,765	299
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,613,886	60,219
現金及び現金同等物の期首残高	3,484,609	2,156,188
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	41,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,870,722	2,175,231

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

「参考資料」

受注の状況

(単位：千円)

区分	前年同四半期 (平成22年3月期 第3四半期)	第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	増減	増減率%
設備工事業 産業プラント設備工事	5,597,102	6,072,409	475,306	8.5
設備保全工事	3,688,981	3,911,910	222,929	6.0
電気計装工事	2,977,058	3,409,966	432,908	14.5
送電工事	786,756	1,118,993	332,237	42.2
管工事	887,849	1,005,820	117,971	13.3
小計	13,937,747	15,519,101	1,581,353	11.3
表面処理事業	459,506	599,509	140,003	30.5
その他(鑄造用工業炉)	133,306	238,895	105,589	79.2
合計	14,530,560	16,357,506	1,826,945	12.6